ifbrand

Trywin

取扱説明書（保証書付）

地上デジタルチューナー

DTF-H808

保証書添付

このたびはトライウイン地上デジタルチューナーをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。特に「安全上のご注意」は、ご使用の前に必ずお読みいただき安全にお使いください。

お読みになった後は、いつでも取り出せるところに巻末の「保証書」とともに大切に保管してください。

DTF H808-001-A

安全上のご注意

お使いになる本人や周囲の人々への危害、物的損害を未然に防止するため、ここに示す内容をお読み頂き、必ずお守りください。

製品を安全に正しくお使いいただくために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は以下のとおりです。

表示	意味	絵表示	意味
⚠警告	人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。	⚠	気をつけていただく必要がある内容を示しています。
⚠注意	人がけがをしたり、財産に損害を受けたりするおそれがある内容を示しています。	⊘	してはいけない内容を示しています。
		!	かならずしていただきたい内容を示しています。

⚠ 警告

- **交流 100V 以外の電圧で使用しない**
  火災や感電の原因となります。
- **電源コードに重い物を乗せたり、本機の下敷きにしない**
  電源コードを傷付けたり、加工する・ねじる・ひっぱる・無理に曲げる・加熱するなどの行為を行わない
  電源コードが傷ついて火災や感電の原因となります。電源コードが傷んだ場合は販売店にご相談ください。
- **本機を落とすなどして破損した場合は、電源を切り、電源プラグを抜く**
  そのまま使用すると火災や感電の原因となります。電源を切ってから販売店にご相談ください。
- **煙やにおい・音などの異常が発生したら、電源を切り、電源プラグを抜く**
  そのまま使用すると火災や感電の原因となります。電源を切ってから販売店にご相談ください。
- **本機をぬらさない・ぬれる場所におかない・風呂やシャワー室で使用しない**
  水が本機の内部に入ると火災や感電の原因となります。雨天・降雪中・海岸・水辺などの屋外での使用は特に控えてください。
- **本機内部に異物が入ったときは、電源を切り、電源プラグを抜く**
  そのまま使用すると火災や感電の原因となります。電源を切ってから販売店にご相談ください。
- **分解や改造、お客様による修理を行わない**（分解禁止）
  本機の内部に触れると感電や故障の原因となります。修理や内部の点検は販売店にご依頼ください。
- **雷が鳴り出したら、アンテナケーブルや電源プラグに触れない**
  感電の原因となります。
- **不安定な場所に置かない**
  落ちたり倒れたりすると、お客様のけがや本機の故障の原因となります。水平で安定した場所に設置してください。
- **付属品の袋を幼児の手が届く場所に置かない**
  袋を口に入れたり頭からかぶるなどして窒息する可能性があります。

⚠ 注意

- **電源プラグの金属部にホコリなどの異物が付着しているときは、プラグを抜いて乾いた布でふき取る**
  そのまま使用すると火災や感電の原因となります。
- **電源コードを熱器具に近付けない**
  電源コードの被服が溶けて、火災や感電の原因となります。
- **電源プラグを抜くときは、コードの部分を引っ張らない**
  電源コードが傷付き、火災や感電の原因となることがあります。
- **ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない**
  感電の原因となることがあります。
- **電源プラグは確実に差し込む**
  差し込みが不完全な場合、発熱やホコリの付着により火災や感電の原因となることがあります。また、電源プラグの金属部に触れると感電することがあります。
- **さしこみ口がゆるくなったコンセントに電源プラグを接続しない**
  発熱して火災の原因となることがあります。販売店や電気工事店に交換の依頼をしてください。
- **移動させるときは、接続されている線などをすべて外す**
  電源コードが傷付き、火災や感電の原因となることがあります。
- **お手入れのときや長時間使用しないときは、電源プラグを抜く**
  火災や感電の原因となることがあります。
- **タコ足配線をしない**
  火災や感電の原因となることがあります。
- **アンテナ工事は専門技術者に依頼する**
  アンテナ工事には、専門的技術と経験が必要です。また、送配電線の近くに設置すると、アンテナが倒れたときに感電の原因となることがあります。
- **湿気やホコリの多いところ、油煙や蒸気が当たるところに置かない**
  調理器具や加湿器のそばなどに置くと、火災や感電の原因となります。
- **風通しの悪いところ・密閉した箱・じゅうたんや布団の上に置かない**
  布などをかけない
  内部に熱がこもり火災の原因となることがあります。
- **重い物を本機の上に置いたり、上に乗ったりしない**
  破損したり、落下してけがの原因となることがあります。特にお子様やペットにはご注意ください。
- **電池は幼児の手の届くところに置かない**
  電池を飲み込むと、窒息の原因となったり、胃などに止まったりして大変危険です。飲み込んだ恐れがあるときは、ただちに医師と相談してください。
- **電池はプラスとマイナスの向きに注意し、機器の表示通りに正しく入れる**
  間違えると、電池の破裂や液漏れにより、火災・けが・周囲の汚損の原因となることがあります。
- **電池の液が漏れたときは素手で触らない**
  電池の液が目に入ると、失明する恐れがあります。こすらずすぐにきれいな水で洗い流し、ただちに医師の治療をお受けください。
  皮膚や衣類に付着した場合は皮膚に障害を起こす恐れがあります。すぐにきれいな水で洗い流してください。皮膚の炎症などの症状があるときは、医師に相談してください。
- **指定以外の電池を使わない**
  古い電池と新しい電池または種類の違う電池を混ぜて使わない
  電池の破裂や液漏れにより、火災・けが・周囲の汚損の原因となることがあります。
- **電池を火や水の中に投入したり、加熱・分解・ショートしない**
  乾電池を充電しない
  電池の破裂や液漏れにより、火災・けが・周囲の汚損の原因となることがあります。
- **電池を使い切ったときや長時間使わないときは電池を取り外す**
  電池を入れたままにしておくと、過放電により液が漏れ、故障・火災・けが・周囲の汚損の原因となることがあります。

使用上のご注意

⚠ご注意

- お客様もしくは第三者がこの製品の使用を誤ったことにより生じた故障、不具合、またはそれらに基づく損害については、法令上の責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんのであらかじめご了承ください。
- この商品は、海外ではご使用になれません。This unit is designed only for use in Japan and cannot be used in any other countries.
- お客様がビデオデッキ・DVD レコーダーなどで録画（録音）したものは、個人として楽しむなどのほかは著作権法上、権利者に無断で使用できません。
- 本機の不具合により視聴または録画できなかった場合などの補償については一切応じられませんので、あらかじめご了承ください。
- 一般家庭以外（業務用の長時間使用、車両・船舶などへ搭載しての使用など）でのご使用は故障の原因となることがあります。

お手入れについて

本機が汚れたときは、水または水で薄めた中性洗剤でしめらせた、ネルなどのやわらかい布をよくしぼったうえで拭いてください。ベンジンやシンナーなどで拭くと、外装部が変質したり塗料がはげたりする場合がありますのでおやめください。

殺虫剤など、揮発性のものをかけないでください。また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させたままにしないでください。外装部が変質したり塗料がはげたりする場合があります。

アンテナについて

アンテナの周囲の環境や設置方法、風雨などによる劣化具合などで映像や音声の質が変わります。映像・音声の品質が気になる場合は、販売店や電気工事店にご相談ください。

電源・電圧について

- 必ず付属の AC アダプターをお使いください。他の AC アダプターを使用すると故障の原因になります。
- 交流 100V 以外のコンセントは使わないでください。交流 100V 以外のコンセントを使用すると故障の原因になります。

電磁波妨害に注意してください

本機の近くで携帯電話などの電子機器を使うと、電磁波妨害などにより機器相互間での干渉が起こり、映像が乱れたり雑音が発生したりすることがあります。

持ち運びのとき

航空機の中など使用が制限または禁止されている場所で使用しないでください。事故の原因となるおそれがあります。

直射日光・熱気は避けてください

- 窓を閉めきった自動車の中など異常に温度が高くなる場所に放置すると、本機の外装部が変形したり、故障の原因となることがあります。
- 直射日光が当たる場所や熱器具の近くに置かないでください。本機の外装部や部品に悪い影響を与えますのでご注意ください。

雨天・降雪中でのご使用の場合

- 雨天・降雪中でのご使用の場合は、本機をぬらさないようにご注意ください。
- 急激な温度差がある部屋（場所）でのご使用は避けてください。

ステッカーやテープなどを貼らないでください

変色や傷の原因となることがあります。

低温になる部屋（場所）でのご使用の場合

低温になる場所には放置しないでください。変形や故障の原因となります。

保存温度：－ 10℃～ +50℃

使用温度：+5℃～ +40℃

長期間ご使用にならないとき

長期間使用しないと、機能に支障をきたす場合がありますので、ときどき電源を入れて動作させてください。

B-CAS カードについて

- B-CAS カードを必要以上に抜き差ししないでください。故障の原因になることがあります。
- B-CAS カードの中には IC チップが内蔵されています。折り曲げたり、大きな衝撃を加えたり、端子部に触れたりしないようご注意ください。
- 本機に差し込むときは、正しい向きで挿入してください。

結露（つゆつき）について

本機を寒い場所から急に暖かい場所に持ち込んだときや、冬の朝の暖房を入れたばかりの部屋などで、本機の表面や内部に結露が起こることがあります。結露が起きたときは、結露がなくなるまで電源を入れずにお待ちください。そのままご使用になると故障の原因となります。

はじめに

文中の表記について

本書では、リモコンのボタンや画面に表示される文字について、以下のように記しています。

リモコンボタン

[電源]/**[番組説明]**/**[決定]**

画面上の文字

再スキャン/文字スーパー/受信レベル

アイコンについて

本書では、特にお知らせしたい内容を、以下のアイコンを用いて示しています。

⚠ご注意

とくにご注意頂きたい点を説明する際に使用しています。お客様のけがや、機器の損害に関わる重要な内容を含みますので、必ずお読みください。

お知らせ

本機を快適にお使いいただく上で知っておいていただきたい内容を説明する際に使用しています。できるだけお読みください。

イラストなどについて

本書に記載されているイラストや画像などは説明用のイメージであり、実際の製品とは異なる場合があります。予めご了承ください。

地上デジタル放送について

地上デジタル放送は関東、中京、近畿の三大広域圏の一部で 2003 年 12 月から開始された、アナログ UHF 放送帯域を使用したデジタル放送です。デジタルの特長であるゴーストのない鮮明な画像と高音質、データ放送などの多チャンネル放送などを実現しています。地上デジタル放送の詳細については、下記ホームページなどでご確認ください。

社団法人　地上デジタル放送推進協会　http://www.dpa.or.jp

お知らせ

- 本機は地上デジタル放送専用チューナーです。BS デジタル放送や CS デジタル放送には対応しておりません。
- 本機は双方向番組サービスやペイパービュー（有料放送）には対応しておりません。

商品構成について

この商品の構成は以下の通りです。ご使用の前に、すべての内容物がそろっているかご確認ください。

品名	数量
チューナー本体	1 個
リモコン	1 個
リモコン用乾電池（単 4）（動作確認用）	2 本
AC アダプター　約 1.2m（電源コード）	1 本
映像・音声コード　約 1.2m	1 本
B-CAS カード（台紙に添付）	1 枚
（本書）取扱説明書（保証書付）	1 冊

内容物の仕様および外観は、改良のため予告無く変更することがあります。

準備

各部の名称と機能

B-CAS カードを挿入する

1. 同梱の「B-CAS カード使用許諾契約約款」の内容を読み、了解していただいた上で、台紙から B-CAS カードをはがす
2. B-CAS カードを下図の向きで奥までしっかり挿入する

B-CAS カードについて

- B-CAS カードには視聴情報などが記録されますので、本機に入れたままご使用ください。
- B-CAS カードは大切に保管してください。仮に他人がお客様の B-CAS カードを使用して有料番組を視聴した場合でも視聴料はお客様の口座に請求されます。
- 破損等により B-CAS カードの再発行を依頼される場合は費用が必要となります（2011 年2月現在）。詳しくは（株）ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズ カスタマーセンターまでご連絡ください。（カスタマーセンター連絡先は B-CAS カードに記載されております。）

B-CAS カード取り扱い上のご注意

- 折り曲げたり、変形させたり、傷をつけたりしないでください。
- カードの上に物を置いたり、踏みつけたりしないでください。
- カードの金属部分（集積回路）には手を触れないでください。
- 分解、加工しないでください。
- B-CAS カード挿入口には、本機に付属している B-CAS カード以外のものを挿入しないでください。
- B-CAS カードには IC（集積回路）が組み込まれているため、画面に B-CAS カードに関するメッセージが表示されたとき以外は、B-CAS カードの抜き差しをしないでください。視聴できなくなる場合があります。万一、B-CAS カードを抜く必要がある場合は、本機の電源を一度切り、本機に AC アダプターを接続していない状態で、ゆっくりと抜いてください。

リモコンについて

電池の入れ方

1. 電池カバーを開ける
2. ＋極、－極の向きを確認し、正しい方向で単 4 電池 2 本を入れる
3. 電池カバーをしっかり閉める

お知らせ

- 付属の電池は試供品です。市販の電池と比べて寿命が短いので、早めにお取り替えください。

操作のしかた

- リモコン受光部は、操作がしやすい位置に取り付けてください
- リモコンを受光部に向けて操作してください。リモコンと受光部の間は 3m 以内、角度は上下左右それぞれ 30 度以内にしてください。

⚠ご注意

- リモコン受光部を、直射日光の当たる場所やインバーター式の蛍光灯の近くで使用すると誤動作をすることがあります。このような場合は受光部の位置を変えてください。
- リモコンや受光部は、直射日光の当たる場所や高温になる場所に放置しないでください。ケースの変形、電池の破損や液漏れなどの原因となります。

アンテナを接続する

アンテナに接続したアンテナケーブルを、本機の**アンテナから入力　地上デジタル**（接続端子）に接続します。

地上デジタル放送の受信には、UHF アンテナを使用します。VHF アンテナでは受信できません。現在お使いのアンテナが UHF 対応のものであれば、基本的にそのままご使用いただけますが、場合によっては調整やブースターの追加が必要になることもあります。詳しくは販売店などにお問い合わせください。

⚠ご注意

- 本機にアンテナケーブルを接続する際は、無理な力を加えないようにご注意ください。工具などで強く締め付けると、本機の内部が破損するおそれがあります。

ケーブルテレビをご利用の場合

本機はケーブルテレビのパススルー方式（同一周波数または UHF 帯域周波数変換）および帯域外周波数パススルーに対応しております。本機への接続方法は UHF アンテナを接続する場合と基本的に同じです。詳しくはご契約のケーブルテレビ事業者にお問い合わせください。

お知らせ

- お住まいの地域が、地上デジタル放送を視聴できるかどうかは、お近くの電器店または「総務省地上デジタルテレビジョン放送受信相談センター」（電話 0570-07-0101）にご相談ください。

テレビに接続する

付属の映像・音声コードでテレビに接続します。

⚠ご注意

- 接続の際は、接続するテレビと本機の電源コード（AC アダプター）を抜いてください。
- 接続する端子の色を誤ると、音や音声が出力されなくなりますのでご注意ください。
- モノラル音声のテレビと接続する際は、音声－左に接続してください。

電源を入れる

1. 付属の AC アダプターを本機の DC-IN 3.8V（電源入力）に接続する。
2. AC アダプターの電源プラグをコンセントに差し込む。
   本機の電源ランプが緑色に点灯し、電源が入ります。電源ランプが点灯しない場合は **[電源]** を押してください。

受信チャンネルの設定をする

（初めて電源を入れたとき）

ご購入後初めて電源を入れると、テレビ放送を受信するための設定画面になります。以下の手順に従って設定してください。

1. **[▲]**/**[▼]** を押してご使用になる都道府県を選び、**[決定]** を押す
   「設定地域」に選択した都道府県が表示されます。
2. 再度 **[決定]** を押す
   - 受信できる放送局のスキャンを行い、結果が表示されます。
   - スキャン中に **[戻る]** を押すと、その時点までのスキャン結果を表示します。
   - スキャン結果中に **[戻る]** を押すと、「登録を中断しますか？」と表示されます。
     ・**[戻る]** を押すとスキャン結果表示に戻ります。
     ・**[決定]** を押し、さらに **[決定]** を押すと再度スキャンを行います。
   - 受信できる放送局がなかった場合は、スキャン結果の「検索済みチャンネル数」と「検索済みサービス数」がそれぞれ「0」と表示され、チャンネル一覧の画面に進むことができません。その場合は、アンテナの接続などをご確認いただいた後、**[決定]** を押して再度スキャンを行ってください。

⚠ご注意

- スキャン中は AC アダプターを抜かないでください。
- スキャン中は **[電源]** を押しても電源を切ることはできません。

3. **[決定]** を押す
   - スキャン結果を登録し、チャンネル一覧が表示されます。
   - チャンネル一覧表示中に **[戻る]** を押すと、設定画面を終了して通常のテレビ画面になり、番組を視聴することができます。
4. **[決定]** を押す
   - 「リモコンキー割当て一覧」が表示されます。

   - **[▲]**/**[▼]** を押してリモコン番号を選び、**[決定]** を押すとリモコンキーへの割り当てを変更出来ます。（☞裏面「リモコン設定」）
5. **[戻る]** を押す
   設定画面を終了し、通常のテレビ画面になります。

テレビ操作の設定をする

テレビメーカーコードの設定を行うと、本機のリモコンでテレビの一部の操作ができます。

お知らせ

- すべてのメーカーに対応しているというわけではありません。また、テレビの機種によって操作ができない場合もあります。あらかじめご了承ください。

1. **[テレビ電源]** を押しながら、ご使用中のテレビのメーカーコードの数字ボタンを順に押す
   - メーカーコードが複数ある場合は、順番にお試しください。
   - どのメーカーコードでも合わない場合は、テレビに付属のリモコンをお使いください。

メーカーコード

メーカー	コード	メーカー	コード
パナソニック 1	[10]+[1]	日立 1	[1]+[1]
パナソニック 2	[10]+[2]	日立 2	[1]+[2]
シャープ 1	[10]+[4]	三菱 1	[1]+[4]
シャープ 2	[10]+[5]	三菱 2	[1]+[5]
ソニー 1	[10]+[7]	三洋 1	[1]+[6]
ソニー 2	[10]+[8]	三洋 2	[1]+[7]
東芝 1	[10]+[9]	ビクター 1	[1]+[8]
東芝 2	[1]+[10]	ビクター 2	[1]+[9]

例）東芝のテレビの場合

[テレビ電源] を押しながら **[10][9]** を順に押す

または

[テレビ電源] を押しながら **[1][10]** を順に押す

2. **[テレビ電源]** から手を離す
   再度 **[テレビ電源]** を押し、テレビの電源がオン / オフできるか確認してください。

本機のリモコンで操作できるテレビの機能

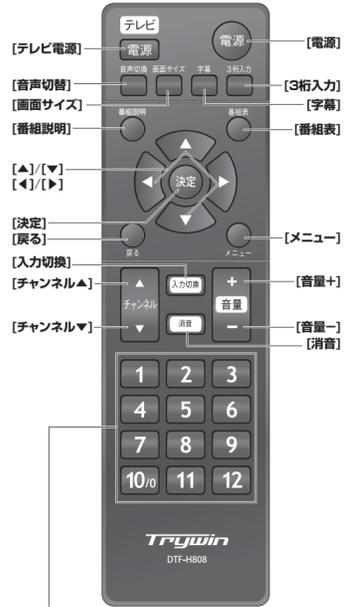
[テレビ電源]：接続したテレビの電源を入／切します。

[入力切換]：テレビの入力ソースを切り換えます。

[消音]：テレビの音声を消します。

[音量＋]/**[音量－]**：テレビの音量を調整します。

基本操作

お知らせ
● **[テレビ電源]**/**[音量＋]**/**[音量ー]**/**[消音]**/**[入力切換]** の操作については、テレビメーカーコードの設定を行った場合のみ本機のリモコンから操作ができます(☞表面「テレビ操作の設定をする」)。(テレビの機種によっては、テレビメーカーコードの設定を行っても本機のリモコンで操作ができない場合があります。その場合は、テレビのリモコンをお使いください。)

[1]〜[12]
(チャンネル(数字)ボタン)

電源と音量

本機の電源を入れる / 切る

[電源] を押す

電源オン：本体の電源ランプが緑色に点灯します。
電源オフ：本体の電源ランプが赤く点灯します。

⚠**ご注意**
● 更新ファイルのダウンロード中（電源ランプが緑色に点滅）は、電源を入れる / 切るの操作ができません。
● 本機は電源オフ状態のときは、常に微弱な電流が流れています。旅行などで本機を長時間使用されないときは、AC アダプターを抜いてください。

テレビの電源を入れる / 切る

[テレビ電源] を押す

音量を調節する

[音量＋]/**[音量ー]** を押す

一時的に音を消す

[消音] を押す

もとに戻すには **[音量＋]** または再度 **[消音]** を押してください。

チャンネルを選ぶ

チャンネル (数字) ボタンで選ぶ

[1] 〜 **[12]**（チャンネル（数字）ボタン）のいずれかを押す

順送りで選ぶ

[チャンネル▲]/**[チャンネル▼]** を押す

押すごとに、チャンネルが切り替わります。

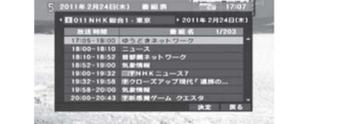
チャンネル番号で選ぶ

❶ **[3 桁入力]** を押す
❷ チャンネル（数字）ボタンを押して 3 桁のチャンネル番号を入力し、**[決定]** を押す

番組表を使う

番組表を表示させる

[番組表] を押す

●番組表が表示されます。

●**[▲]**/**[▼]** を押すと同一局内の番組を選択できます。
●**[◀]**/**[▶]** を押すと放送局を選ぶことができます。
●もう一度 **[番組表]** を押すと、もとの画面に戻ります。

お知らせ
● 番組表データが取得できていないときは、「番組表を取得できませんでした」と表示されます。このような場合は、番組表を表示させたい放送局を選んで 1 分ほど待って操作をやり直してください。
● 放送局の都合により、番組が変更になることがあります。そのため、実際の放送と番組表の内容が一致しないことがあります。

番組の詳細情報を表示する

❶ 番組表から番組を選ぶ（☞上記）
❷ **[決定]** または **[番組説明]** を押す

●番組の詳細情報が表示されます。
●**[▲]**/**[▼]** を押すと説明文をスクロールさせることができます。
●**[戻る]** を押すと番組表に戻ります。

映像と音を切り換える

音声を切り換える

[音声切換] を押す

押すごとに、番組ごとに設定された音声を切り換えます。

お知らせ
● 選択項目は番組により異なります。

画面サイズを変更する

[画面サイズ] を押す

押すごとに、映像の縦横比が変わります。番組の映像に合わせて変更してください。

お知らせ
● 画面サイズはメニューからも設定できます。(☞下記)

字幕を切り換える

[字幕] を押す

押すごとに、字幕放送の字幕表示を切り換えます。選択できる項目は番組により異なります。

お知らせ
● 字幕はメニューからも設定できます。（☞下記）

番組の詳細情報を表示する

[番組説明] を押す

●視聴中の番組名、内容、放送時間、映像信号、音声の種類などが約 5 秒間表示されます。
●番組内容などの情報が最初の表示で収まりきらない場合は、**[▶]** を押すと続きが表示されます。**[◀]** を押すとその前の画面に戻ります。
●もう一度 **[番組説明]** を押すと、もとの画面に戻ります。

故障かな？と思ったら

修理を依頼される前に

以下の項目をご確認ください。それでもなお異常があるときは、使用を中止してトライウイン・サポートセンター（電話：0570-030-100）までご連絡ください。

症状	原因	処置
映像や音が急に出なくなったり、おかしくなった。	本機に何らかの問題が起きている。	本機の電源を切り、AC アダプターをコンセントから抜き、10 秒ほど待ってから再度コンセントに差し、**[電源]** を押してください。
映像も音も出ない。	AC アダプターが正しく接続されていない。	AC アダプターの接続を、本機側とコンセント側両方ご確認頂き、正しく接続してください。
	電源が入っていない。	**[電源]** を押し、電源ランプが緑色になっていることをご確認ください。
	テレビの入力選択が、本機を接続した入力になっていない。	本機を接続した入力に切り換えてください。
電源が入らない。	AC アダプターが正しく接続されていない。	AC アダプターの接続を、本機側とコンセント側両方ご確認頂き、正しく接続してください。
リモコンが動作しない。	本機に何らかの問題が起きている。	本機の電源を切り、AC アダプターをコンセントから抜き、10 秒ほど待ってから再度コンセントに差し、**[電源]** を押してください。
	電池が切れている。	新しい電池と取り替えてください。
	電池の向きが間違っている。	電池を正しく入れなおしてください。
	リモコン受光部に向けて操作していない。	リモコン受光部に向けて操作してください。
映像は出るが、音が出ない。	テレビの音量が最小または消音になっている。	テレビの音量を上げてください。
	テレビにヘッドホン接続されている。	ヘッドホンを抜いてください。
放送が受信できない。	UHF アンテナが接続されていない。	UHF アンテナを接続してください。
	アンテナケーブルが正しく接続されていない。	正しく接続してください。
	アンテナの向きが正しくない。	販売店又は電気工事店にご連絡ください。
	ケーブルテレビの伝送方式がトランスモジュレーション方式になっている。	UHF アンテナに接続するなど、他の方式をご検討ください。
	受信チャンネルが正しく設定されていない。	再度初期スキャンを行ってください。
画面にブロックノイズ（四角形が一つまたは複数集まったようなノイズ）が現れる。	アンテナケーブルが正しく接続されていない。	正しく接続してください。
	アンテナの向きが正しくない、またはアンテナの前に障害物がある、またはその他の理由で、アンテナからの信号レベルが低い。	販売店又は電気工事店にご連絡ください。
	B-CAS カードが正しく挿入されていない。	正しく挿入してください。
番組表が表示されない。	AC アダプターを接続した直後などで、番組表データが取得されていない。	番組表データが取得できていないときは、「番組表を取得できませんでした」と表示されます。このような場合は、番組表を表示させたい放送局を選んで 1 分ほど待って操作をやり直してください。
字幕や文字スーパーが出ない。	設定がオフになっている。	オフ以外に設定してください。

メッセージ一覧

メッセージ	メッセージ番号	原因	処置
信号レベルが低下しています アンテナを確認下さい	E201	受信レベルが低下し、受信できない。	アンテナの接続をご確認ください。それでも受信できない場合は、販売店又は電気工事店にご連絡ください。
信号が受信できません アンテナ線及び設定をお確かめください	E202	アンテナが接続されていない。	アンテナを接続してください。
		アンテナケーブルが正しく接続されていない。	正しく接続してください。
		アンテナの向きが正しくない。	販売店又は電気工事店にご連絡ください。
		受信チャンネルが正しく設定されていない。	再度初期スキャンを行ってください。
休止中 放送時間を確認してください	E203	選局しているチャンネルの放送が終了している。	放送中のチャンネルを選局するか、放送が開始されるまでお待ちください。
このボタンにチャンネルは設定されていません	P002	押した数字ボタンのリモコン番号に、放送局が登録されていない。	リモコン設定で放送局を登録してください。
不正なチャンネル番号です 正しいチャンネル番号を入力してください	P003	存在しないチャンネルまたは本機では受信できないチャンネルを選局している。	受信可能なチャンネルを選局してください。
IC カードが挿入されていません IC カードを正しく挿入してください	P001	B-CAS カードが正しく挿入されていない。	B-CAS カードを正しく挿入してください。
B-CAS カードが使用できません	EC01	B-CAS カードの向きが正しくない。	B-CAS カードの向きを確認し、正しく挿入してください。
	EC02	B-CAS カードが故障している。	(株) ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズ カスタマーセンターまでご連絡ください。(カスタマーセンター連絡先は B-CAS カードに記載されております。)

仕様

品名		地上デジタルチューナー DTF-H808
本体寸法：幅×奥行×高さ		14cm × 12cm × 2.6cm
本体質量		約 180g
使用電源		AC アダプター AC 100V 50Hz/60Hz DC 3.8V/0.8A（最大）
使用温度範囲		＋ 5℃〜＋ 40℃
消費電力 / 待機時消費電力		2.8W / 0.4W
放送	放送方式	地上デジタル放送方式（日本）
	チューナー	地上デジタルチューナー ×1
	チャンネル	VHF：1 〜 12ch 地上波：13 〜 62ch CATV：C13 〜 C63ch (同一周波数 / 周波数変換パススルー方式に対応)

機能	電子番組表（EPG）	○（当日を含め 8 日分）
	字幕・文字スーパー	○
	テレビ画面サイズ切換	通常 シネマ ズーム
	二重音声／ステレオ	○
入出力端子	アンテナ入力端子	1 系統
	ビデオ出力端子	1 系統
	アナログ音声出力端子	1 系統（右 / 左）

● 緊急警報放送に対応しています。
● データ放送／双方向サービスには対応していません。
● ハイビジョン番組は標準画質で表示されます。
● 仕様、外観などは改良のため予告なく変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

本機で使用しているソフトウェアについて
● 本機には、The FreeType Project LICENSE（http://www.freetype.org/FTL.TXT）の適用を受けるソフトウェア freetype（http://www.freetype.org/）が組み込まれています。
● 本機では画面に表示されるフォントとして、Hanyang Information & Communication Co., Ltd. が制作した TrueType フォントを使用しています。（TrueType は、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。）

メニューを使う

メニューを使うことで、本機をお好みの状態に設定することができます。

メニューを選ぶ

❶ **[メニュー]** を押してメニューに入る
❷ **[▲]**/**[▼]**/**[◀]**/**[▶]** を押して項目を選び、**[決定]** を押す

お知らせ
● 設定中に **[戻る]** を押すと、通常画面に戻ります（「アンテナ受信レベル」を除く）。
● 設定中に **[メニュー]** を押すと、前の画面に戻ります。

受信設定

初期スキャン

受信できる放送局を検索し、登録します。

❶ 初期スキャンを選び、**[決定]** を押す
❷ **[▲]**/**[▼]** を押してご使用になる都道府県を選び、**[決定]** を押す
❸ 再度 **[決定]** を押す

●受信できる放送局のスキャンを行い、結果が表示されます。
●スキャン中に **[戻る]** を押すと、その時点までのスキャン結果を表示します。
●スキャン結果中に **[戻る]** を押すと、「登録を中断しますか？」と表示されます。
・**[戻る]** を押すとスキャン結果表示に戻ります。
・**[決定]** を押し、さらに **[決定]** を押すと再度スキャンを行います。
●受信できる放送局がなかった場合は、スキャン結果の「検索済みチャンネル数」と「検索済みサービス数」がそれぞれ「0」と表示され、チャンネル一覧の画面に進むことができません。その場合は、アンテナの接続などをご確認いただいた後、**[決定]** を押して再度スキャンを行ってください。

⚠**ご注意**
● スキャン中は AC アダプターを抜かないでください。
● スキャン中は **[電源]** を押しても電源を切ることはできません。

❹ **[決定]** を押す

●スキャン結果を登録し、チャンネル一覧が表示されます。
●チャンネル一覧表示中に **[戻る]** を押すと、設定画面を終了し、通常のテレビ画面になり、番組を視聴することができます。

❺ **[決定]** を押す

●リモコンキー割り当て一覧が表示されます。
●**[▲]**/**[▼]** を押してリモコン番号を選び、**[決定]** を押すとリモコンキーへの割り当てを変更出ます。（☞右記「リモコン設定」）

再スキャン

受信できる放送局を再度検索し、登録しなおします。

❶ 再スキャンを選び、**[決定]** を押す
❷ 再度 **[決定]** を押す

●前回設定した地域設定のまま受信できる放送局のスキャンを行い、結果が表示されます。

<後の操作と注意事項は初期スキャンと同じです。>

アンテナ受信レベル

アンテナの受信レベルを表示します。

❶ アンテナ受信レベルを選ぶ
❷ **[▲]**/**[▼]** を押してアンテナの受信レベルを確認したい受信帯域を選び、**[決定]** を押す
❸ **[▲]**/**[▼]** を押してアンテナの受信レベルを確認したいチャンネルを選び、**[決定]** を押す

受信レベルが表示されます。

リモコン設定

チャンネル（数字）ボタンに設定されている放送局を、別の放送局に変更します。

❶ リモコン設定を選ぶ
❷ **[▲]**/**[▼]** を押して変更したいリモコン番号を選び、**[決定]** を押す
❸ **[▲]**/**[▼]** を押してそのリモコン番号に割り当てるチャンネルを選び、**[決定]** を押す

●**[10/0]** を押すと、リモコン番号へのチャンネルの割り当てが解除されます。
●❷と❸の操作は繰り返し行うことができます。

受信帯域設定

受信帯域を選択します。

❶ 受信帯域設定を選ぶ
❷ **[▲]**/**[▼]** を押して受信したい受信帯域を選び、**[決定]** を押す

機器設定

画面サイズ設定

画面のサイズを変更します。

❶ 画面サイズ設定を選ぶ
❷ **[▲]**/**[▼]** を押して通常/シネマ/ズームの中から選び、**[決定]** を押す

受信中の映像の縦横比と本機を接続したテレビの画面の縦横比によって適切な選択肢は変わります。画面で見やすさを確認しながらお選びください。

お知らせ
● 画面サイズは **[画面サイズ]** でも変更できます。

字幕表示

字幕（番組中のせりふなどを文字化して画面に表示するもの）の表示のしかたを設定します。

❶ 字幕表示を選ぶ
❷ **[▲]**/**[▼]** を押して項目を選び、**[決定]** を押す

選択項目
オフ：字幕を表示しません
日本語：日本語で字幕を表示します
英語：英語で字幕を表示します

お知らせ
● 字幕は **[字幕]** でも変更できます。

文字スーパー表示

文字スーパー（地域情報やニュース速報など、番組と連動しない文字情報を画面に表示するもの）の表示のしかたを設定します。

❶ 文字スーパー表示を選ぶ
❷ **[▲]**/**[▼]** を押して項目を選び、**[決定]** を押す

選択項目
オフ：文字スーパーを表示しません
日本語：日本語で文字スーパーを表示します
英語：英語で文字スーパーを表示します

ダウンロード設定

更新ファイルを自動的にダウンロードするかどうかの設定を行います。

❶ ダウンロード設定を選ぶ
❷ **[▲]**/**[▼]** を押してオンかオフを選び、**[決定]** を押す

オンを選ぶと、本機がスタンバイ状態のとき（電源ランプ：赤）に発信された更新ファイルを自動的にダウンロードし、本機のソフトウェアを更新します。ダウンロード中は電源ランプが緑色に点滅します。

お知らせ
● ダウンロード中は AC アダプターを抜かないでください。
● 更新ファイルとは、本機のソフトウェアへの機能追加や改善を行うもので、地上デジタル放送の電波を利用して発信されます。

工場出荷設定

メニューによる設定を工場出荷状態に戻します。

❶ 工場出荷設定を選ぶ
❷ **[▲]**/**[▼]** を押してするかしないを選び、**[決定]** を押す

確認画面が表示されます。

❸ **[▲]**/**[▼]** を押してもう一度するかしないを選び、**[決定]** を押す

工場出荷後初めて電源を入れたときと同様に、地域設定画面になります。表面の「受信チャンネルの設定をする(初めて電源を入れたとき)」をご参照頂き、設定してください。

バージョン表示

本機のソフトウエアバージョンを表示します。

バージョン表示を選ぶ

ソフトウエアバージョンが表示されます。

B-CAS カード

B-CAS カードの情報を表示します。

B-CASカードを選ぶ

B-CAS カードの情報が表示されます。

メール

お知らせメール

放送局などからのメールを表示します。

❶ お知らせメールを選ぶ
❷ **[▲]**/**[▼]** を押して周波数リストか受信機ソフトウェアを選び、**[決定]** を押す

周波数リスト：周波数リストの更新情報を表示します。
受信機ソフトウェア：本機のソフトウェアの更新情報を表示します。

❸ **[▲]**/**[▼]** を押してメールを選び、**[決定]** を押す

メールが表示されます。

保証とアフターサービスについて

■ 保証期間について

本機の保証期間はお買い上げ後 1 年間です。
保証期間中は保証規定に従って修理させていただきます。
保証期間外でも修理により機能が維持できる場合はお客様のご要望により有償修理させていただきます。

■ 修理に関するご相談窓口

受付時間をご確認の上、トライウイン・サポートセンターにご連絡ください。

トライウイン・サポートセンター
電話：0570-030-100
受付時間：月曜日〜金曜日
（祝日および当社の休日を除く）10：00 〜 18：00